

素早い対応に感動！！ 適応指導教室「宙」

12月議会の一般質問で、不登校の子どもたちの居場所づくりの問題に絡めて、適応指導教室『宙』の施設設備について質問しました。昨夏老人福祉センター隣から、旧教育委員会（以前は法務局）に移転した『宙』です。

私が質問したことの一つは、施設の構造上やむを得ないとはいえ、『宙』の入り口に鍵がかかり、「御用のある方はチャイムを押してください」となっていたことです。自分に自信を失っている中で、このチャイムを押せる人は多くはないと思います。また蔵書や教材が少ないこと、スペースが狭いこと、Wi-Fi環境が整っていないことなど一つ一つについて、要望を伝え対策を求めました。



先日、所用があり、宙に伺いました。玄関ドアには「手動式」と書かれ、鍵はなくなっていました。市立図書館から「団体貸し出し」を受けた本が、小さな本箱に並べられていました。寄贈の図書や教材が、並んでいました。今後、更に子どもたちが過ごしやすいうように、様々な工夫がなされていくものとの予兆が感じられました。



職員のみなさんの素早い対応、ありがたいことだと思いました。「宙」が不登校の子どもたちのより良い居場所となることを願っています。

生活相談

いつでも、気軽にお電話ください。どんな相談でも、大丈夫です。

983-7140

ロジスティクス建設工事が 始まりました

きよみ野に隣接した大字川富新堤向に、ロジスティクスの建設工事が始まりました。

これまでののどかな田園風景から、大きく景色が変わったことは事実だと感じます。

説明会で話された通り通学路の安全は守られるのか、生活道路に大型車両が入り込まないようにするとの独自の努力が本当に守られるのか、住民の不安は、まだ全く解決されていません。

今後の動向を、みんなでしっかりと見守っていかなくてはならないと感じます。

ご心配なこと、危険と感ずることなどありましたら、ぜひご連絡をくださいますように、よろしくお祈りします。



きよみ野暮らし

選挙期間中、たくさんの方々とお会いしました。何度も何度も繰り返した街頭宣伝に、わざわざ腰を下ろして私の訴えを聞いてくださった皆さん。「家の中で聞いていたよ」と、あとでこっそり声をかけてくださった方々。「つわぶき便り、いつも読んでるよ」との声や、「共産党の市民アンケートに書いた問題提起、早くつわぶきに書いてほしい」とのご要望もいただきました。「つわぶきってどんな花だろうと思って、調べてみた」という声もいただきました。

「つわぶき便り」を読んでくださる方がたくさんいらっしゃるのことがわかり、とても嬉しく思いました。

引き続き「つわぶき便り」を発行していきます。どうぞよろしくお祈りします。

つわぶき便り

日本共産党吉川市議会議員
雪田 きよみ
住所：吉川市きよみ野 3-23-1
電話：983-7140
e-mail:kiyomi.snow@mbr.nifty.com
URL:kiyomiyukita.com

第一回臨時議会が開催されました♡ 議長に加藤克明氏（自民）・副議長に稲垣茂行氏（市民の会・無所属）

1月26日投開票で行われた市議会議員選挙で多くのみなさまからご支援をいただき、市議会議員として2期目を迎えさせていただきました。公約実現に向け、全力で働く決意です。今後とも温かいご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

2月5日には、第一回臨時議会が開催されました。

議長に自民党の加藤克明議員、副議長は市民の会・無所属の稲垣茂行議員が選出されました。

私は日本共産党吉川市議員団団長・文教福祉常任委員会副委員長・議会広報委員会副委員長として、働かせていただきます。



各会派の構成（敬称略 ◎は会派代表者）

会派	氏名	会派	氏名
日本共産党 吉川市議員団	遠藤 義法	自民党 吉川市議員団	◎松崎 誠
	◎雪田 きよみ		中嶋 通治
	飯島 正義		加藤 克明
市民の会 ・無所属	◎斎藤 詔治		吉川 敏幸
	伊藤 正勝		赤出川義夫
	稲垣 茂行	◎小野 潔	
未来会議 よしかわ	岩田 京子	公明党 吉川市議団	五十嵐 恵千子
	◎戸田 馨	無所属	大泉 日出男
	稲葉 剛治		降旗 聡
	林 美希		成本 直寛

各常任委員会の構成（敬称略 ◎は委員長 ○は副委員長）

委員名	委員名	委員名
◎岩田 京子	◎吉川 敏幸	◎降旗 聡
○赤出川 義夫	○雪田 きよみ	○伊藤 正勝
遠藤 義法	松崎 誠	飯島 正義
小野 潔	五十嵐 恵千子	中嶋 通治
戸田 馨	齋藤 詔治	大泉 日出男
成本 直寛	林 美希	稲葉 剛治
加藤 克明		
稲垣 茂行		

社会保障を守り、一人一人の人生の輝きを！

全世代型社会保障って？

昨年10月、消費税が10%へと増税されました。消費税増税と引き換えにされたのは、「社会保障の充実」という言葉でした。これまでは医療や介護など「高齢者中心」だった社会保障を、子育て世代にも拡大し、「全世代型」の社会保障制度へ転換すると政府は言いました。ではこれから、社会保障の充実が期待できるのでしょうか？

【どうなる、年金制度？】

政府が今検討している年金制度の改変は、年金を目減りさせる仕組み「マクロ経済スライド」を2046年か47年まで継続するというものです。つまり、現在37～38歳の人が65歳になって年金受給を開始するときまで年金の減額が続けられます。その時点では、基礎年金の水準は現行より3割も減らされ、現在でも満額で月6.5万円に過ぎない基礎年金が、月4万円台にまで落ち込みます。

【医療はどうなる？】

75歳以上の後期高齢者医療保険の窓口負担を、現行の1割から2割に引き上げることや、3割負担となる「現役並み所得」の対象者を拡大することなどが検討されています。

更に、受診した際に窓口負担額に上乗せをして定額を徴収する仕組みや、一定の医療用薬品を保険給付から外すこと、薬剤費を一定額まで全額自己負担とすることなども財務省から提案されています。

【介護保険は??？】

介護保険サービスの利用料を、原則1割負担から2割負担に引き上げることや、ケアプラン作成の有料化、高齢者施設への入所費用を月額



2.2万円、年間26.4万円引き上げることなどが提案されています。また要介護1・2の生活援助を介護保険の給付から外すことなどが検討されています。

結局、若者世代の負担が増える仕組みでは？

今年90歳を迎える私の母も、今は施設に入所しています。今の金額なら、母の年金から入所費用を支払うことができます。年間26.4万円負担が増えるなら、そのお金は全て私にのしかかってきます。

同じような状況の方は、たくさんいらっしゃると思います。特に子育て世代では子どもの教育にお金がかかり、親の介護にまたお金がかかり、その中にはご自身の奨学金の支払いをしている人もいるかもしれません。そして、その世代の年金が現行より3割、月4万円台にまで削られようとしているのです。

高齢者が社会保障費を使い過ぎていると言われていますが、今検討されている「全世代型社会保障」では、結局若者世代の負担が大きくなるだけではないでしょうか。

健康で文化的な生活を送る権利の保障を

年をとれば誰でも体調に変化をきたし、慢性疾患を抱えたり、膝や腰の痛みを抱え、それと上手く付き合いつつ生きていくものだと思います。時々受診し薬を服用することが、その人なりの健康維持に繋がっていくのだと思います。

年金が削られ、生活で手いっぱい受診もできない、健康に生きる権利も保障されない社会は間違っていると思います。憲法25条に保障された健康で文化的な生活を送る権利、しっかりと守っていきましょう。

**すべての人に
生きる権利！**



乳がん検診 30歳から実施 の吉川市をつくきましょう！

選挙戦の間、私が街頭から訴え続けたことは、乳がん検診を30歳から実施する吉川市をつくっていきましょうということでした。



前回もお伝えしましたが、私の姉は32歳で乳がんを発症しました。発見されたときのステージはⅡbでした。お腹にいた双子の赤ちゃんを諦め、治療に専念しました。40代で膝に、50代で肋骨に、60代を目前にもう片方の乳房に転移が発見されました。姉は30年もの長きにわたり、そして人生の半分を乳がんと向き合いながら生きてきました。こういう女性は、姉ただ一人ではありません。

私が出会ったある女性は、30代で乳がんを発症し、夫婦関係が上手くいかなくなり離婚。その後転移を繰り返し、50代でまだまだ気がかりな一人息子を残して亡くなっていきました。「息子の足音を聞いていたい」との言葉を、忘れることができません。



毎月の自己検診はとても大切です。しかし、自己検診でしこりを見つけてから受診をするのではなく、もっと早い段階でがんが発見されていれば、姉もその女性も又違う人生を生きていたに違いありません。

乳がん検診を30歳から実施し、若い女性の命・健康を大切にすまじづくりは、そのまま全ての市民ひとり一人の命・暮らしに寄り添うあたたかいまちづくりに繋がっていくと考えています。そんなあたたかいまちづくりを目指して、乳がん検診を30歳から実施する吉川市を実現していきたいと思っています。



公共交通の充実で、高齢者の 元気な暮らしの保障を



いくつになってもその人らしく元気に生き生きと暮らしていこうという、「フレイル予防」の考え方が今注目されています。フレイル予防のために最も大切なことは、高齢者の社会参加と言われている。それを可能にするのが、公共交通の充実だと言われています。

吉川市も今、それなりにバス路線の整備は進められています。しかし足腰が弱ってきた方々や、体力が衰えてきた方々にとって、整備されているとは言えません。次々とスーパーが閉店する中で、日々の買い物にも苦勞されている方々がたくさんいらっしゃいます。公民館や市民プールに向かうバス路線は、十分とは言えません。

このような状況を改善し、バス路線網の整備・コミュニティバス・デマンドバスなどの整備で、いくつになっても運転免許証を返納しても、これまで通りの社会の中での活動が続けられる吉川市をつくらせていきたいと思っています。

JCP-きよみ野サポーターズ DVD 視聴会

追悼 中村哲さん
「武器ではなく 命の水を」

2月29日(土)9:30～

おあしすミーティングルーム4